

総合計画策定にかかる市民グループインタビュー

第2回

コミュニティ・カフェ

「ぶらり」

日時：平成21年12月21日（月）

場所：コミュニティ・カフェぶらり

参加者数：16人

◆教育・スポーツ・文化

- ・ 歩道整備されて、ウォーキングコースとして使われる。
- ・ 健康のため河沿いの道を歩く人やグループは多い
- ・ ゲートボールの後で、みんなでお茶を飲むのが楽しい。
- ・ 老人会の中でも年齢差（10～20才）があるから、自分たちより若い人と話もできる。
- ・ 時間を決めて集まることは苦手だが、散歩途中で寄って誰かがいれば話しやすい。
- ・ 上万願寺の奥にある大谷キャンプ場は利用されていない。
- ・ 今はオークタウンが整備されている。
- ・ それまで小学生は普光寺や大谷キャンプ場を使っていた。
- ・ 今の小学5年生の自然学校はテントも張らないし、本当の自然学校じゃない。中途半端。
- ・ 自然体験とこいつつ、トイレ等整備されていないと保護者や子どもも嫌がる。
- ・ 家の外で遊ぶ子どもの姿を見ない。今は友達が遊びに来て家でもみんなとゲームする。

◆健康・医療・福祉

- ・ 健康にはみんな関心が高い。歩くのも体を動かす健康法
- ・ 子どもの世話になりたくないと思う。そのため、みんな健康に気をつけている。
- ・ 一人暮らしでも二人暮らしでも健康意識は高い。
- ・ 地元の公会堂で健康体操をやっていたときは、道沿いの家に声をかけ30人集まった。
- ・ 一人暮らしのお年寄りがご飯を食べに来られる場所にと調理を考えている
- ・ 肉・砂糖はほとんど使わず健康を第一に。
- ・ 料理に使う素材は地元でまかなう。足りないものは買ってくるけれど。
- ・ 健康教室だけではなかなか人が集まらないけれど、カフェなら手軽にみんな寄れる。

- ・ 子連れの来店も大歓迎。お母さんはお茶を飲んで、子どもは自由に遊べる。
- ・ 子どもが遊んでいれば、きっと、おばあちゃんもかまいたくなる。
- ・ 子ども連れのお母さんと仲良くなって、短時間ならお客のおばあちゃんが子どもの一時預かりができるかも。
- ・ 子育てサークルの活動や子育てカフェにもどうぞ。

◆防災・防犯・環境

- ・ 田舎においてもコミュニティが希薄化している。
- ・ 昔のようにご近所が集まって縁側で話したりすることが少なくなった。
- ・ 縁側、土間があった時代は、コミュニティは自然発生的だった
- ・ これだけあちこちで交流、交流っていうのも、どこも交流が不足している表れ。
- ・ 行事がなくなってきたら、隣保でも顔を合わせる事が少ない。
- ・ 婦人会の集まりや行事も役員さんだけのときが多いので、みんな集まるのは三世代交流とか、ふれあい祭り（老人会、婦人会、こども会）の行事など、年間でもそう多くない。
- ・ 婦人会～60才までで、老人会は60才から入る。
- ・ そこそこ田舎だが、田舎を求めてくる人には、少し中途半端。
- ・ 本当の自然体験ができない。
- ・ 「万願寺川＝加古川の源流」のイメージと現実が違いすぎる。
- ・ 川のコンクリートは美観を損ねている。できれば撤去してほしい。
- ・ 自然の川の姿でないとホテルが自生しない。
- ・ 山の整備が必要。一定の水量が川にあるように。
- ・ 昔は川でオムツが洗えるくらい水があった。
- ・ 山の中に杉花粉や針葉樹の葉っぱが積もって水はけが悪くなっている。
- ・ 針葉樹が木の足元を暗くしてしまって、落葉樹や里山が育たない。

◆産業・労働・観光

- ・ 買い物は地元に戻ってくる生協、コープさんを利用する。車が乗れない人には便利。
- ・ あとは町内に小さな商店が1軒ある。これもコミュニティの場所。
- ・ そこにはベンチがあって、店で買ったものをみんなで食べたり、しゃべったり。
- ・ この隣には神社があって磯崎神社の元宮。「ぶらり」とあわせて発信したい。

◆都市・交通・情報

- ・ 今日車でも来たけれど、歩きだと2kmの散歩道
- ・ 道山と万願寺の中間地点。久しぶりに出会う人もいる。
- ・ 70歳以上だと免許を持つ女性は少ない。
- ・ 車がなくても、普段着の姿で歩いて来られる。

- ・ 村の外まで出ることがない。喫茶店でお茶を飲むのは初めての体験
- ・ いい場所ができて本当によかった
- ・ 歩いて行くしかできなくなったら、各町でもこのようなカフェが月 1 回でもいいからできればうれしい。

◆市民参画・協働・行財政運営

- ・ みんなで歓談する場所としては、ここがよい。
- ・ 地元の公会堂は、カギがかかっている。いつでも気軽に使うわけにはいかない。
- ・ 自治会の組織とは違って、ここでは新しいことがやりやすい。
- ・ 地域の役員さんは前例にないことをしたがない。
- ・ 西在田の農協がなくなったのは地域としては寂しい。
- ・ 最初、西在田 JA 跡の建物を活用しようと最初考えたけれど、話がまとまらなかった。
- ・ コミュニティ・カフェってわかりにくいかもしれない。
- ・ 気軽に入れるところがいい。
- ・ 近所で誘い合ってここに来た。
- ・ 「コミュニティ・カフェぶらり」は地域のつながりの場
- ・ ぶらりのスタッフは西在田住民 6 人の当番制（常勤 3～4 人）。
- ・ 時間の制限がないから、ゆっくり話すことができる。
- ・ 「ぶらり」地域のつながりの場
- ・ 西在田地区では認知されてきた。来たことはなくても場所・名前は知っている状態。
- ・ リピーターは増えています。（ご近所をメインに）。訪れる方の年齢は 60～80 才。
- ・ 運営スタッフは若井・道山・万願寺。6 人。当番制（3～4 人）。
- ・ 「ぶらり」の料理コンセプト：「まごは（わ）やさしい」

ま：まめ

ご：ごま

わ：わかめ

や：やさい

さ：さかな

し：しいたけ

い：いも

